

令和3年度 第5回 高士区地域協議会 次 第

日時：令和3年9月9日(木) 午後6時30分～
会場：高士地区公民館 大会議室

延べ1時間40分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 協議事項

・地域活動支援事業の追加募集について

① 進め方の説明 【5分】

② ヒアリング 【25分】

③ 採点 【5分】

— 休憩 (10分) —

④ 審査・採択すべき事業の決定等 【20分】

(2) 自主的審議事項

・町内会長との意見交換会の振り返り 【15分】

・地域住民との意見交換会について 【15分】

3 そ の 他

(1) 次回開催日の確認等

【3分】

【旧高士スポーツ広場の活用を話し合う会】

- 日時 : 10月1日(金) 午後6時30分から
- 会場 : 高士地区公民館 大会議室
- 内容 : 地域住民との意見交換会

(2) その他

4 閉 会

重要

資料 1 (参考)
提案者宛て案内文書

令和 3 年 8 月 27 日

地域活動支援事業 提案者 (高土区) 各位

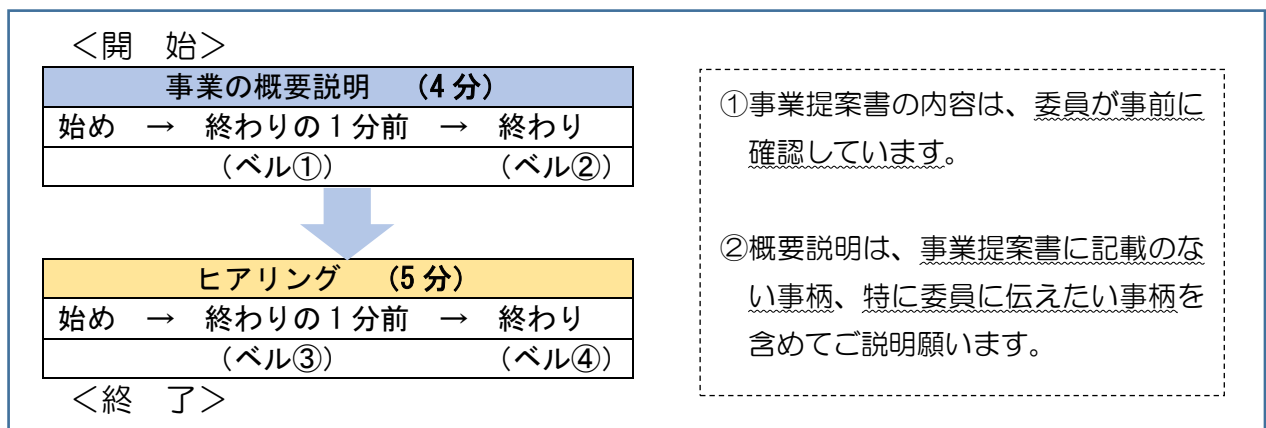
高土区地域協議会
会長 青木 正紘
(事務局: 中部まちづくりセンター)

高土区地域活動支援事業 ヒアリングの実施について (ご案内)

この度は、地域活動支援事業にご提案いただきありがとうございました。
提案事業の審査にあたり、下記のとおりヒアリングを実施いたしますので、ご出席
くださるようご案内申し上げます。
ヒアリングは、審査を行う地域協議会委員が提案内容を正しく理解し、公平・公正
な審査を行うことができるようお願いするものです。ご協力をお願いいたします。

記

- 日 時** 令和 3 年 9 月 9 日 (木)
※各団体の開始時間は、裏面「4 ヒアリング日程表」のとおりです。
- 会 場** 高土地区公民館 大会議室 (飯田 11-2)
※10 分前までに会場にお越しいただき、入り口ロビーでお待ちく
ださい。時間になりましたら、係員が会場までご案内いたします。
- 進行方法** ○持ち時間は、**事業説明 4 分**、**ヒアリング 5 分**です。
○事業説明は、事業の要点とアピールポイントをご説明ください。
○個々の進行は、下記の流れにより“ベル”を鳴らして合図します。



裏面あり

4 ヒアリング日程表

事業番号	時間	提案団体名	事業名
士-追1	18:40~18:49	総合型地域スポーツクラブ 高士地区体育協会	ニュースポーツの普及事業
士-追2	18:50~18:59	高士小学校区青少年健全育成協議会	高士地区住民による児童の安全見守り活動事業

5 その他

- 都合により欠席される場合や、開始時間の変更が必要な場合は、
9月6日(月)までに事務局にご連絡ください。
- 進行状況により、お待たせすることやヒアリングの順番を前後させていただくことがありますので、予めご了承ください。
- 終了した団体から順次流れ解散となります。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。また、今後の感染拡大の状況により、ヒアリングを中止させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

上越市 自治・市民環境部 自治・地域振興課
中部まちづくりセンター 担当：山崎、小林
住所：上越市木田 1-1-3 (木田第2庁舎 3階)
電話：526-1690 (直通) / FAX：520-5853
携帯電話：080-1155-7693(当日連絡用)

特定事業の決定について

1.採択方針（募集テーマ）

次のテーマのいずれかに適合する事業は、特定事業として共通審査基準に **5点の加算**を行う。

●集まれ！子育て世代 ～子育て世代の活動を応援します～

【活動のイメージ】

- ・子育てをしながら季節の暮らしを楽しむ子育て世代のグループ活動や、子どもと一緒に企画し実施するイベントや活動。

（活動の例：夏休み宿題塾、親子キャンプ、稲刈体験、ハロウィンパーティー、リース作り など）

●人を呼べる新たなイベント ～高士の魅力を発見・発信しよう！～

【活動のイメージ】

- ・区外の住民との交流を促進し、地域の賑わいを創出する新たな活動。または今後の活動の展開によりその効果が期待できる活動。

（活動の例：ウォーキングツアー、お花見、花火大会、秋の収穫祭 など）

2.決定方法

特定事業の適合判定は、委員間での協議により決定する。

3.適合判定

※協議結果に✓を入れる

事業番号	事業名	事業内容	適合判定
士-追1	ニュースポーツの普及事業	地域住民の体力の維持と団結を図るため、幼児から高齢者まで参加できるニュースポーツに必要な備品を整備し、各種行事において普及を促進する。	<input type="checkbox"/> 適合する <input type="checkbox"/> 子育て世代活動 <input type="checkbox"/> 新たなイベント <input type="checkbox"/> 適合しない
士-追2	高士地区住民による児童の安全見守り活動事業	児童の安全・安心の確保や健全育成を図るため、パトロールに必要な物品を整備し、登下校時に見守り活動を行う。	<input type="checkbox"/> 適合する <input type="checkbox"/> 子育て世代活動 <input type="checkbox"/> 新たなイベント <input type="checkbox"/> 適合しない

検討シート

【自主審議事項】旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について

【8.25 意見交換会結果反映】

審議の概要		「人口減少による地域全体の衰退が危惧される中、高士区地域協議会では地域活性化を図る目的で、旧高士スポーツ広場を地域の拠点とする！」	
委員・町内会長の思い A 思い	活用策の検討方法 B アクション	想定される課題 C 課題	活用策の案 D 目標
<ul style="list-style-type: none"> ・価値のある財産 ・若者から高齢者までが集える憩いの場に ・高士の中心・拠点に ・素晴らしい景色 ・交流人口を増やせる場に（区外からも利用） ・休日に利用が増えるような場所に ・年数回、区民が集まる場所に ・若い世代に残したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と意見交換（若い世代からも意見を聞く） ・現場視察 ・土地の区画を整理 ・広場周辺の地権者と意見交換 ・地区住民へ周知 ・他地区の事例の現状調査（運営上の課題） ・専門家にアドバイスをもらう ・行政からの支援の範囲を確認 ・市の福祉計画とも照らし合わせ、広い視野で考える ・周辺の土地も含めて検討 ・活用策を決めてから旗振り役を探すという順序でよいのか（やりたいことがある人が旗振り役になるのではないか） ・ポジティブシンキング（既存の概念にとらわれず、奇想天外な、思い切ったアイデアも出してみる） 	<ul style="list-style-type: none"> 【環境整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・水道や電気の整備 ・トイレの整備 （現在の利用者のためにもトイレは必要） →必要時のみレンタルで対応可能ではないか ・駐車場の整備 ・冬季間の除雪 <ul style="list-style-type: none"> 【資金】 <ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況も踏まえ、市の他事業と歩調を合わせた提案をする必要がある ・財政面の裏付けがない 【活用後の懸念】 <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の関心が低い ・活用後も利用が少人数に留まる可能性 ・維持管理が困難 ・子どもが遊びに行くには遠い ・（民間企業が土地を買い取って事業を始める場合、）周辺住民とトラブルになる恐れがある ・（宅地利用の場合、）土地周辺に文化財が埋蔵している可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 【広場・公園】 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートボールやグラウンドゴルフができる広場 ・キャンプや雪遊びができる広場 ・ドッグラン ・子どもたちが遊べる広場（遊具を設置） ・自転車に特化した公園や自然を活用した迷路のある公園 【イベント・活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・地区の体育大会の実施（現在は小学校グラウンドで実施） ・スポーツ広場を中心とした散歩コース（公民館事業で作成した四季の見どころマップを活用） ・道沿いに花の植栽 ・教育と産業を組み合わせた新しい産業（岩の原葡萄を使った加工品の開発など） ・地区合同のさいの神や夏祭り（単独町内では実施が困難となっているため） 【施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・県立武道館やジムリーナのようなスポーツ施設 ・ものづくり工房 ・老人ホームや保育園等（雇用が生まれることで人口増につながる） ・ポニーの乗馬体験 ・スケートボードの練習場 ・マウンテンバイクのコース ・ソーラーパネルの設置 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・岩の原葡萄園等の企業による活用 ・宅地利用

※太字が8/25の意見交換会で出た意見

「旧高士スポーツ広場の活用を話し合う会」実施計画（案）

1 目的

高士区地域協議会で自主的審議を進めるにあたり、旧高士スポーツ広場の活用に関する住民の考えや想いを知り、審議に反映させるため、地域住民との意見交換を行う。

また、地域協議会の活動内容や役割等について理解を深めてもらうことで、今後の連携の糸口とする。

2 日程等

日 時 : 令和3年10月1日（金） 午後6時30分～（2時間程度）

場 所 : 高士地区公民館 大会議室ほか

参加対象者 : 高士地区体育協会、一般参加希望者（人数未定）

3 検討する項目

- (1) スポーツ広場に何を望むか（思い）
- (2) 地域による利用、又は他からの集客のいずれを目指すか
- (3) 具体的な活用策の案（目標）
- (4) 実現可能性について（課題）
- (5) 連携していく団体はどの団体か（実施主体）
- (6) その他

※検討会の目的は意見交換であり、各項目の結論を出す必要はない。また項目に縛られることなくフリーに話せる場という設定とする。

4 当日の進め方

- (1) 高士区地域協議会の活動等について説明
- (2) 意見交換（グループワーク）※2～3つのグループに分かれる
- (3) 発表
- (4) まとめ

5 資料

- (1) 参考資料（人口データ、活用事例、市施設の現状など）
- (2) 検討シート（8.25の意見交換の結果を反映し、整理したもの）

6 周知

- (1) 班回覧の実施
（参加者募集チラシの班回覧により、参加者を募集する。）
- (2) 地域団体へ案内を送付
（振興協議会、体育協会、高士幼年野球、周辺地権者ほか、R1～R3支援事業採択団体等へ個別に案内を送付し、参加を促す。）
- (3) 地域協議会委員による声掛け
（委員自身が所属する団体や町内等において声掛けを行い、参加を促す。）
- (4) 報道機関への情報提供